

令和 5 年度第 1 回杉戸町環境審議会 会議録

日 時 令和 5 年 7 月 12 日（水）
場 所 深輪産業団地地区センター 会議室 1・2

会議録様式

審 議 会 名	令和５年度 第１回杉戸町環境審議会
開 催 日 時	令和５年７月１２日（水） 午前９時３０分～１１時３０分
開 催 場 所	深輪産業団地地区センター 会議室１・２
会 議 の 議 題	(1) 令和４年度杉戸町環境基本計画第４期実施計画 実施状況に関する報告について
公開・非公開の別	☒ 公開 ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 １人）
	(非公開の場合理由)
出席委員氏名	・ 藤城 一巳 委員 ・ 坂本 正博 委員 ・ 木村 芳裕 委員 ・ 佐藤 杉弥 委員 ・ 奥山 あき子 委員 ・ 戸賀崎 邦雄 委員 ・ 木村 三樹男 委員 ・ 遠藤 清 委員 ・ 蓮沼 弘行 委員 ・ 中村 和孝 委員
審 議 の 概 要	・ 別紙のとおり。

令和 5 年度第 1 回杉戸町環境審議会

審議会開会・閉会の日時		令和 5 年 7 月 12 日（水） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分			
議 事 名		(1) 令和 4 年度杉戸町環境基本計画第 4 期実施計画 実施状況に関する報告について			
委員の出席について	職 名	氏 名	出席状況	氏 名	出席状況
	1 号委員 (関係団体を代表する者)	藤城 一巳 平井 勝美 木村 芳裕 奥山 あき子	出席 欠席 出席 出席	木村 三樹男	出席
	2 号委員 (関係行政機関の職員)	蓮沼 弘行	出席		
	3 号委員 (識見を有する者)	坂本 正博 秋元 智子 佐藤 杉弥	出席 欠席 出席	戸賀崎 邦雄	出席
	4 号委員 (環境保全に関心の高い者)	遠藤 清 中村 和孝	出席 出席		

	役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
説明者	環境課長	伊坂 泰重	環境課 主幹	金井 真司
			// 主査	濱島 和弘
			// 主事	橋本 和幸
事務局	環境課長	伊坂 泰重	環境課 主幹	金井 真司
			// 主査	濱島 和弘
			// 主事	橋本 和幸

発 言 の 内 容 ・ 説 明 等

議題 (1) 令和 4 年度杉戸町環境基本計画第 4 期実施計画 実施状況に関する報告について

・事務局より上記内容について説明した。

意見・各施策の達成できなかった項目について、達成できなかった理由を考えていく必要がある。例を挙げると P10 の「大膳堀（杉戸小学校付近）の維持管理が A 評価となっているが、子供が遊べるような水質ではないのに A 評価というのは疑問が残る。水辺環境の目標地点は、水質をどう改善していくかというところであると思う。きれいに整備して終了ということではなく、水質改善に取り組んでほしい。その取組の一環として、町職員が先進地事例視察（例：静岡県三島市・東京都日野市）を行った方が良いと思う。

意見・公民館事業として大落古利根川で生き物調査を実施していたが、近年の護岸工事によって護岸の見た目はきれいになったが、魚は減少した。このような整備を実施する際は、生き物に配慮するなど多面的に考えていく必要がある。

意見・現在、大落古利根川沿岸でモグラが大量発生している。県の護岸工事後に増加した気がする。

質問・P16 の「太陽光発電設備の導入促進（重点施策）」について A 評価となっているが、全世帯への設置が目的ならば、A 評価ではないのではないか。

回答・令和 4 年度予算での太陽光発電設備の導入に係る補助金の予算執行率が高かったという意味で A 評価としている。

質問・環境の目標に対する進捗状況において、データがないものや、最新の数値になっていないものがある（P15 の電気使用量など）。最新のデータがないと評価ができなくなってしまう。また、これから始まる第 2 次環境基本計画においても、現況のデータを押さえておかないと次年度以降の進捗結果の評価ができなくなってしまう。

回答・現状把握できる最新のデータ（国・県のデータなど）を参照している。

- 質問**・指標となるデータについては、町独自の計測が難しいものなどがあると思うが、他機関に依頼してデータを提供してもらうなど、データを集める方法はいくつもあると思う。また、各進捗状況のデータについて、数値として良い結果となっているが、本当に良くなっているのかが分からない。人口動態を示す夜間人口や昼間人口といった様々なデータと組み合わせて分析することで、本当に良くなっているのかどうかを判断することができると思う。
- 回答**・最新のデータについては、各課と連携しながら集めていく。
- 質問**・P18の「巡回バスルートを見直す」についてB評価としているが、どのような基準でB評価としているか教えてほしい。周囲の人の意見を聞いてみると実際に利便性が向上しているという声が聞こえてこない。
- 回答**・乗降客数の数値を踏まえてB評価としており、利便性という視点では評価していないと考えられる。
- 意見**・P18の「巡回バスルートを見直す」について、兵庫県明石市を参考にしてほしい。明石市は、巡回バスの利用者数が多い地域、少ない地域を分析し、巡回ルートの選択と集中を行って巡回バス事業を黒字化している。
- 回答**・民間との共存（既存の民間バス路線とのルート重複回避）や、公共交通の空白地帯解消を目的としているため、なかなか難しいところがある。
- 意見**・町の説明は理解でき、その結果、採算性が悪くなってしまうことは分かるが、ニーズの高い黒字路線もどこかで組み合わせれば、町の巡回バス事業全体として黒字でまとまるのではないかと考える。
- 意見**・取組結果A～E評価として出ているのは分かるが、その評価の根拠となる数値を押さえ、後で分析できるようにしたほうが良い。そうしないと後で結果を振り返る際に、良い悪いの判断できなくなってしまう。
- 質問**・P15の町全体の電気使用量の結果は出せるのではないかな。
- 回答**・後ほど確認して回答する。
- 意見**・P6「市民緑地の有効活用と環境保全」について、具体的にどのような取り組みをしたかが分からない。
- ・P6「既存施設におけるビオトープの維持・活用」について、A評価の理

由が分からない。維持管理という意味では、A 評価かもしれないが、生涯学習センターのビオトープは、コンクリートで囲われてるなど、本来のビオトープとは言いづらく、自然を大事にすることとあまり結びつかないのではないと思う。

- ・ P8「剪定枝、雑草、落葉など農業への活用の推進・研究」の D 評価について、農業への活用を進めるには、作ったたい肥が安全で効果のあるものであることが重要になってくるので、良い堆肥を作るという前提で行う必要がある。
- ・ P9「BOD 測定結果～アユの住める川を目指す～」について、古利根川・中川・倉松川の測定結果が掲載されているが、町内には、それ以外にも多くの水路があり、これらの水路は測定対象としたほうが良い。
- ・ P12「販売店への容器等の回収ボックスの設置促進」の E 評価の理由について、新規スーパーなどの出店がなかったためとあるが、他の方法を考えた方が良いと思う。
- ・ P12「一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）の推進」の E 評価について、改定時期でないため、計画を作らなかったとのことだが、改定した計画がなくても、基本計画に沿ってどうであったのかという対応はできたのではないかと思います。
- ・ P14「有害化学物質のないまちづくり」について、杉戸町内では、有害化学物質を扱う事業所はどんなところがあるのか把握する。
- ・ P16「省エネルギーに関する情報発信、意識啓発」について、町では、どのような情報発信を行っているのか明確にする。
- ・ P18「立哨指導及び自転車駐車場の利用促進と維持管理」の D 評価について、どのようなことを意味しているのかが分からなかった。
- ・ P18「幹線道路への植樹帯の設置または設置要請」の D 評価の理由として、幅員が確保できなかったためとの説明であったが、何か工夫をして設置した方がよかった。
- ・ P20「樹木や空き地の計画的管理（剪定・消毒・草刈等）と周辺住民への周知の徹底」とあるが、近所において隣地の空き地の雑草に苦勞している人がいる。そのような中で、A 評価にして良いのかと思う。
- ・ P22「町民アンケート結果「満足・やや満足」との回答率」について、現況値が 23.2%とあるが、更に結果を良くするためには、町で環境に関するシンポジウムなどを行った方が良かったと思う。
- ・ P24「まちづくり支援制度の活用」について、活動年数を重ねるにつれて補助率が悪くなり、活動が続けづらくなっている。新たに活用しやすい制度を作った方がよい。

- ・P26「河川流域市町との連携による河川クリーン活動の実施」について、河川にごみを捨てさせないような仕組みを考えた方がよい。
- ・計画に掲げられている各取組内容について、環境管理委員会や住民によるチェック体制を機能させる必要がある。

意見・P6の「既存施設におけるビオトープの維持・活用」として、生涯学習センターのビオトープがA評価となっている。維持管理という意味では、A評価かもしれないが、住民の中にはビオトープとしての機能が足りていないと思っている人がいる。

質問・進捗評価（A～E）は、実施内容を各課にヒアリングして環境課が評価しているのか。

回答・各課で評価してもらっている。必要に応じてヒアリングを行っている。

意見・10個ある「環境の項目・環境の目標」について、進捗評価の平均点を出してみたが、低かったのが「④ごみとリサイクル」、「⑦交通システム」、「③水環境」であった。反対に高かったのが、「⑧魅力あふれる計画・心地よい暮らし」、「②食料・農業・農村」、「⑥エネルギーと地球温暖化」であった。評価の低かった分野は改めてどのように対応・管理するかを検討した方がよい。また、この実施報告書については、各分野における問題点が見える化されているので、今後、有効に活用していったほうがよい。

質問・町の重点施策において、P6の「定期的な生きもの調査の実施（重点施策）」だけが太字になっていないので、修正してほしい。

・P2の「2 杉戸町の望ましい環境の将来像」になっているので、修正してほしい。

・地下水に関する項目を計画の中に入れても良いと思う。地下水の汲み上げに関して、杉戸町は県水をあまり買わずに、地下水の汲み上げを行っているため、水道代が安くなっていると聞いた。自宅近くの高野台の外周道路では、歩道とU字溝との間に段差ができ、町がそれをアスファルトですりつけたようだが、傾斜ができてしまっているため、雪の日などは危ないと感じることがある。また外周道路の街路樹が目線の高さになってしまっており、通りづらい。

回答・現状5%ぐらいに留まっている。高野台では、汲み上げを行っていない。歩道とU字溝に段差ができているのは、湿地であった高野台を区画整

理した際の影響なのではないかと思う。